

平成 25 年度第 1 回岩手県後期高齢者医療広域連合運営協議会 開催結果概要

- 1 開催日時 平成 26 年 2 月 3 日（月）午後 1 時 30 分から午後 3 時 20 分
- 2 開催場所 岩手県自治会館 第 2 会議室
- 3 出席委員 高橋委員、工藤委員、松本委員、黒澤委員、菊地委員、菅原委員、岩動委員、佐藤委員、細江委員、根子委員
- 4 傍聴者 4 名

5. 会議の概要

(1) 説明

次の事項について、事務局から説明した。

- ア 後期高齢者医療制度の動向について
- イ 岩手県後期高齢者医療広域連合の運営状況について
- ウ 広域連合事務局体制等の見直しについて
- エ 東日本大震災への対応について
- オ 柔道整復施術療養費不正請求事案の対応について
- カ 平成 26 年度及び平成 27 年度の後期高齢者医療保険料率（案）について

(2) 主な意見等

- イ 岩手県後期高齢者医療広域連合の運営状況について

【委員】高齢者医療制度において非常に感心しているのは、岩手県は医療費が一番少ない。財政面ではよく努力されているが、実態をよく把握して、後期高齢者のみなさんの健康や安心を確保していただければと思います。

- カ 平成 26 年度及び平成 27 年度の後期高齢者医療保険料率（案）について

【委員】年金が減ってきていて大変だと思う一方で、状況を聞けばしょうがないなとも思うが、納得するような収納の仕方をしてほしい。

【委員】徴収する際は、十分に説明してからやってほしいし、不公平感のないように。また、持続可能な保険ということで、一人一人が十分な医療を受けられるように、今後破綻することないようにずっと続けてほしい。

【委員】この制度は固まったのであるのだから、もう一度、被保険者の方へ保険料はこのように算出して負担いただくのだというお知らせするのが必要だ。忘れてほしくないのは、先ほどの分担割合があったが、本人が 1 割、公費が 5 割、現役世代 4 割負担している。現役世代も大変だ。あなたたちの子や孫も 4 割負担しているということもあわせて広報してもらいたい。

【委員】医療費増加対策も一緒にもっと具体的にターゲットを絞って考えていくことが大切だと思う。たとえば、レセプト内容の審査をして特徴を踏まえた保健事業を、岩手県の特長

に沿って取り組むべきではないかと思う。

【委員】消費税を上げながら保険料を引き上げるというのはどうなのだろうか？今回は公費を拡充する考え方もあるのではないか？と思う。もう一つは、保険料増加抑制の取組みということで、あと10年で団塊の世代も後期高齢者になる。ますます財政も厳しい。そのために、今から健康づくりをして、いろんな保健指導を行い予防して、将来保険料や医療費がかからないようにしようということで、県・市町村と共同してやっっていこうということを考えている。その点もよろしくご検討お願いしたい